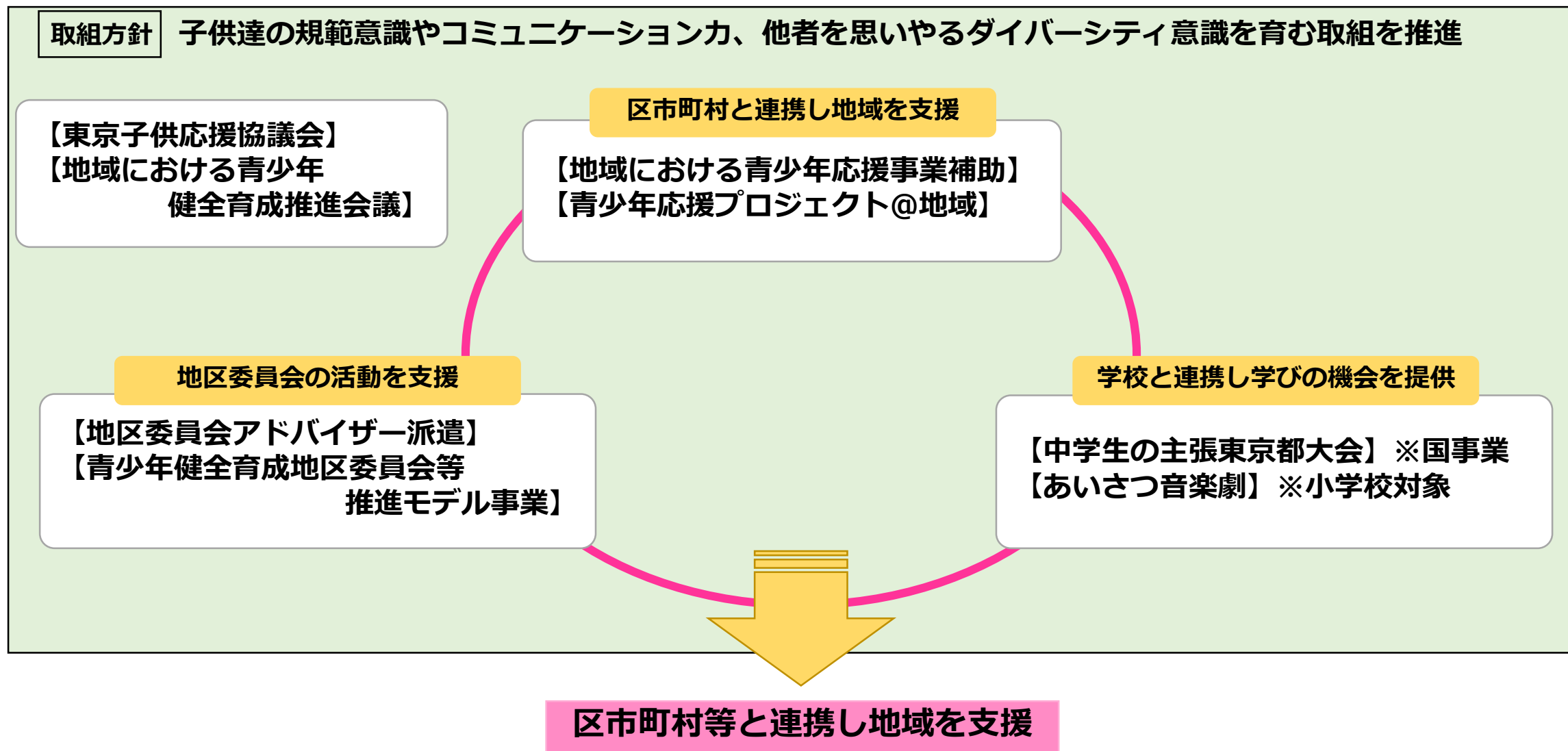


「東京都の青少年健全育成事業について」

- 地域における青少年健全育成事業
- 区市町村と連携し地域を支援
 - ・ 青少年応援プロジェクト@地域
- 地区委員会の活動を支援
 - ・ 地区委員会アドバイザー派遣
 - ・ 青少年健全育成地区委員会等推進モデル事業

○ 地域における青少年健全育成事業

東京都では、次代を担う青少年を地域全体で健全に育成するために、次のような事業を進めています。



○ 区市町村と連携し地域を支援

青少年応援プロジェクト@地域

地域の中で、外国人や国際経験豊かな方々を通して“多文化への理解を深める”、高齢者や障害者など様々な人との交流により“他者を思いやる”、スポーツや職業体験から“将来への視野を広げる”など、青少年のダイバーシティ意識を育む。

令和5年度実施例

テーマ：障害者への理解

日時：令和5年6月28日（水） 午後7時から午後9時まで

会場：大田区糀谷特別出張所

参加者：35名

講師：白石 浩一 氏（一般社団法人発達障害支援アドバイザー協会代表理事）

第一部：【体験会】VR（Virtual Reality）を使った自閉症体験会

○VRゴーグルを用いて、参加者全員に発達障害の特性を体験してもらい、講義の導入とした。

第二部：【講演会】「発達障がい」についての理解を深める

○第一部での体験を踏まえつつ、発達障害の特性や、合理的配慮について事例を交えつつ講演を行った。



【参加者の感想】

- 初めての事でしたし、発達障がいの方の目線が分かり良かったです。
- どの様に感じるのかVRで体験することで理解しやすいと思いました。
- 普段目にする事もあり、困っている様子など対応を困る事もあったので、とても分かりやすく接し方が勉強になりました。
- 寄り添う支援はとても大切だけれども、周りの理解が必要だと感じました。

・次年度は3月募集予定

○ 区市町村と連携し地域を支援

青少年応援プロジェクト@地域 令和5年度実施状況(令和6年1月31日現在)

	実施日	区市町村	テーマ	講師		講演テーマ
1	6月28日	大田区	障害者や高齢者への理解	白石 浩一	(一社)発達障害支援アドバイザー協会 代表理事	VR (Virtual Reality)を使った自閉症体験会/「発達障がい」についての理解を深める
2	7月1日	台東区	多文化への理解	杉山 文野	株式会社ニューキャンバス代表 フェンシング元女子日本代表	はじめてのLGBTQ ～性の多様性を考える～
3	7月3日	板橋区	障害者や高齢者への理解	結城 康博	淑徳大学 総合福祉学部教授	住民主体で地域を支える高齢社会 ～助け合う関係をどう持続・構築していくか～
4	7月7日	板橋区	スポーツ・職業体験等	狩野 美雪	元全日本バレーボール選手 デフバレーボール女子日本代表 監督	みんな違う。それが普通。 ～デフバレーボールを通して気づいたこと～
5	7月8日	大田区	障害者や高齢者への理解	原 哲也	言語聴覚士・社会福祉士 一般社団法人WAKUWAKU PROJECT JAPAN代表理事	発達障がいを持つ子どもたちとの関わり方
6	7月16日	奥多摩町	多文化への理解	チャド・マレーン	お笑い芸人	世界中を笑顔に！ ～すべてはコミュニケーション～

○ 区市町村と連携し地域を支援

	実施日	区市町村	テーマ	講師		講演テーマ
7	10月4日	江東区	スポーツ・職業体験等	KABA.ちゃん	タレント・振付師	輝く自分探し ～自分らしさへの道のり～
8	10月12日	三鷹市	スポーツ・職業体験等	越乃リュウ	俳優 元宝塚歌劇団月組組長	輝く人生への道 ～理想の自分への成長の秘訣～
9	10月14日	足立区	スポーツ・職業体験等	ト部 蘭	陸上中距離選手	走るって最高！陸上競技の魅力とは ～ト部選手の速さの秘訣をいろいろ聞けるトークショー～
10	12月10日	三宅村	多文化への理解	ダニエル・カール	山形弁研究家	多様性に即したコミュニケーション術
11	1月13日	国分寺市	障害者や高齢者への理解	国沢 真弓	フリーアナウンサー 自閉症スペクトラム支援士	気になる子どもへのかかわり方 ～対処法の引き出しを増やそう～
12	1月16日	墨田区	多文化への理解	ダニエル・カール	山形弁研究家	多様性に即したコミュニケーション術
13	1月28日	武蔵野市	スポーツ・職業体験等	大山 加奈	元バレーボール日本代表	講演会：繋ぐ～バレーボールが教えてくれたこと 交流・体験会：シッティングバレーボール

○ 区市町村と連携し地域を支援

青少年応援プロジェクト@地域

地域の中で、外国人や国際経験豊かな方々を通して“多文化への理解を深める”、高齢者や障害者など様々な人との交流により“他者を思いやる”、スポーツや職業体験から“将来への視野を広げる”など、青少年のダイバーシティ意識を育む。

令和5年度実施例

テーマ：障害者への理解

日時：令和5年6月28日（水） 午後7時から午後9時まで

会場：大田区糀谷特別出張所

参加者：35名

講師：白石 浩一 氏（一般社団法人発達障害支援アドバイザー協会代表理事）

第一部：【体験会】VR（Virtual Reality）を使った自閉症体験会

○VRゴーグルを用いて、参加者全員に発達障害の特性を体験してもらい、講義の導入とした。

第二部：【講演会】「発達障がい」についての理解を深める

○第一部での体験を踏まえつつ、発達障害の特性や、合理的配慮について事例を交えつつ講演を行った。



【参加者の感想】

- 初めての事でしたし、発達障がいの方の目線が分かり良かったです。
- どの様に感じるのかVRで体験することで理解しやすいと思いました。
- 普段目にする事もあり、困っている様子など対応を困る事もあったので、とても分かりやすく接し方が勉強になりました。
- 寄り添う支援はとても大切だけれども、周りの理解が必要だと感じました。

・次年度は3月募集予定

○ 地区委員会の活動を支援

地区委員会アドバイザー派遣

地域の中で青少年健全育成の中心的役割を担う地区委員会に対し、地域の課題解決に必要な様々な知識をもった専門家が講師として講座を実施することで、地区委員会の活動の活性化を図る。

令和5年度実施状況(令和6年1月31日現在)

4区3市で計7回実施
(全10回予定)

令和5年度実施例 (令和5年度稲城市青少年育成地区委員会合同研修会)

日時：令和5年11月26日（日）10:30～12:00

会場：稲城市地域振興プラザ

参加者：22名

講師：千葉 晋也（株式会社石塚計画デザイン事務所 代表取締役（共同代表）

内容：

チラシづくりからSNSまで“活動が伝わる”広報のコツを学ぼう

- ◆SNSなどを活用した広報・失敗しないチラシづくりのコツなどについて解説。
- ◆参加者が実際のイベントで使用したチラシを発表。講師からのアドバイスとともに、参加者全員で効果的な広報について共有。



【参加者の感想】

- すぐにでも活用できそうな内容だったのでおもしろかったです。さっそく何から取り組もうかワクワクしました。
- 今まで悩みながら作成していた事へのアドバイスをいただけてうれしかったです。

**令和6年度は、3月に募集予定
申込をお待ちしています！**

○ 地区委員会の活動を支援

地区委員会アドバイザー派遣 今年度の実施テーマ (令和6年1月31日現在)

地区委員会の魅力再発見！

～もっと活動が楽しくなる！仲間になりたくなる！地区委員会をリフレッシュするアイデアを出し合おう

地区委員会活動を担う人材確保・育成のポイント

仲間を増やす・活動を元気にするポイント講座

まちの魅力を再発見して活動に磨きをかけよう

子どもが主体的に参加できる企画や活動を考えよう

子供が参加したくなる・ワクワクする企画の考え方・作り方

＼チラシづくりからSNSまで／ 〳活動が伝わる〴〵広報を学ぼう

○ 地区委員会の活動を支援

青少年健全育成地区員会等推進モデル事業

都内の地域社会、家庭、学校が連携し、青少年を地域ぐるみで育成する取組を「推進モデル」として指定し、広く都内各地域に紹介します。

【参考】令和5年度の指定条件

- (1) 令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）中に実施した事業
- (2) 地域社会、学校、関係機関等と連携を図った取組
- (3) 青少年の正義感や倫理観を育むと共に、他者を思いやり、多文化への理解を深めるなど多様性の意識を育むために実施する取組（アまたはイに該当するもの）
 - ア 地域の中で青少年を育てる取組
 - イ 青少年の体験を豊かにする取組

●令和6年度「青少年健全育成地区委員会等モデル事業」の募集

【スケジュール（予定）】

- | | |
|--------------------|-------------|
| ・ 募集 | (令和6年3月～5月) |
| ・ ヒアリング | (令和6年5月) |
| ・ モデル指定、モデル事例集原稿依頼 | (令和6年6月) |
| ・ モデル事例発表 | (令和7年2月) |

ぜひ地区委員会の取組を御紹介ください！



○ 地域における青少年健全育成事業

東京都では、次代を担う青少年を地域全体で健全に育成するために、次のような事業を進めています。

